

CONTENTS

環境活動レポート

(2014年1月1日～2014年12月31日)

2014年度



発行日:2015年3月31日

丸和熱処理 株式会社

1.環境方針

2.組織の概要

3.EA21推進委員会

《3-1》 EA21推進委員会の構成

《3-2》 主な環境活動内容

《3-3》 EA21推進委員会の活動内容

4.環境目標

《4-1》 環境目標項目の選定

《4-2》 環境負担の実績

《4-3》 環境目標（短期・中長期）設定

《4-4》 2015年度（取組対象期間）環境目標値

5.環境目標の実績（2014年1月～12月）

《5-1》 二酸化炭素排出量

1) 全体 2) 電気使用 3) ガソリン、軽油使用

4) 灯油使用 5) LPG、重油使用

《5-2》 廃棄物排出量

《5-3》 水使用量

《5-4》 化学物質使用量

《5-5》 グリーン購入推進

《5-6》 熱処理現場・サービスにおける環境配慮

《5-7》 環境保全団体への支援・協力

6.環境活動計画の取組結果の評価ならびに次年度の取組内容

《6-1》 環境活動計画の取組状況の評価

《6-2》 次年度の取組内容

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

8.代表者による全体評価と見直しの結果

《8-1》 環境経営システムが有効に機能しているか

《8-2》 環境への取組は適切に実施されているか

1.環境方針

【基本理念】

私たち丸和熱処理株式会社は、金属熱処理、金属表面処理、アルミ処理等の事業内容であり、環境に負担を与えながら、事業活動を行っています。その上で、環境と事業活動の調和に努め、環境保全を重要課題として捉え、保護活動に積極的に努力します。

【行動指針】

- 1) 事業活動を通じて環境に与える負荷を的確に把握し、環境影響の低減、及び維持、汚染の防止に努めます。
- 2) 省資源・省エネルギー・リサイクル・廃棄物の削減に事業活動を通じて取り組みます。
- 3) 環境に関する法令・条例・協定及びに要求事項を厳守します。
- 4) 地域の環境保全活動を支援していきます。
(山形エコアクション21対応)
- 5) 環境負荷の継続的改善の為、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行います。
- 6) 製品運送の環境改善に努めます。
- 7) 環境方針を制定し、文書化し、全従業員に配布して、周知徹底を図ります。
- 8) 人体や環境へ影響を与える可能性のある化学物質の使用量及び排出量を削減します。
- 9) 環境に配慮したグリーン購入対象商品の比率向上に努めます。
- 10) この環境方針は社内外に公表します。

制定日：2011年9月1日

最終改訂日：2014年2月12日

丸和熱処理 株式会社

代表取締役社長 **後藤 章洋**

2.組織の概要

《2-1》事業者名

丸和熱処理株式会社
代表取締役社長 後藤 章洋



《2-2》所在地/連絡先

本社・天童工場：〒994-0069
山形県天童市清池二丁目8番20号
山形工場：〒990-2338
山形県山形市蔵王松ヶ丘一丁目2番3号

(連絡先：本社/TEL023-655-2880 FAX 023-655-5203
E-mail maruwat-somu2@amail.plala.or.jp)
担当：環境管理責任者 城戸 賢政

《2-3》事業の概要

金属製品に対する熱処理加工

- ・ガス浸炭焼入・ガス浸炭窒化焼入・安定化处理（サブゼロ）
- ・ガス軟窒化・真空焼き・析出硬化処理・焼入焼戻・高周波焼入
- ・パーコリユーブライト・アルカリ黒色着色・光輝熱処理全般
- ・アルミ溶体化処理・時効硬化処理

《2-4》事業の規模

創業：1973年（昭和48年8月） 資本金：5,000万円

事業年度	2012年	2013年	2014年
売上金額	54,000万円	55,000万円	58,000万円
従業員数	62名	62名	62名

3.EA21推進委員会

《3-1》EA21推進委員会の構成

代表者：代表取締役社長 後藤 章洋

環境管理責任者：城戸（常務取締役/天童工場長）

田中（山形工場長）

環境事務局：鈴木（総務）

EA21推進委員：天童工場 鈴木（総務）・舟越（品証）

山形工場 志田（総務）・佐藤（生産管理）

《3-2》主な環境活動内容

1) 二酸化炭素排出量の削減

①消費電力

- 早朝、照明器具の消灯
- 不要な照明の消灯
- タイマー設置等、設備改善による消費電力削減
- 待機電力の削減（電気ポット、テレビ、構内放送設備等）

②エコ運転の実施

- エコドライブ研修会の開催
- アイドリング停止の徹底
- 営業車両の燃料使用上限値の目標設定

2) 廃棄物排出量の削減と適正管理

①一般廃棄物削減

- 分別の徹底
- コピー数量の削減
- 木製パレットの有効活用

②リサイクルの促進

- コピー用紙の両面使用
- コピー用紙の再利用後、梱包材への再利用

③産業破棄物の適正管理

- 保管場所の管理
- マニフェスト・契約書類の管理

3) 総排水量の削減

①水道使用量の削減

- 冷却用水槽の節水
- 手洗い時の節水（掲示）

②地下水の適正利用

- 水量計の設置

4) 化学物質使用量削減

①化学物質使用量の削減

- 化学物質適正使用量の数量確認
- 使用量の把握

5) グリーン購入

- 既存品の長持ち運動とEC商品購入品目の拡大・購入継続
- 営業車両の適切な管理、整備
- 環境に配慮した車両の購入

6) 製品・サービス関連

- NG発生件数を「ゼロ」にする
- リサイクル梱包材の積極活用
- 焼入基準書の作成・活用
- 納期トラブルゼロ

7) 山形エコアクション21関連

1) 地産地消

（月1回の呼かけの他、多くの社員の昼食となる仕出し弁当業者は、地産地消を掲げている業者を選定しました。）

2) 2月に山形県主催『冬の省エネ川柳・標語コンテスト』への参加しました。

3) 2014年3月より飲料自販機による緑の募金実施（天童工場）。 2014年9月まで累計募金実績 ¥10,395円



4) 山形県環境保全協議会へ入会

5) 地産地消、エコバック推進の呼かけ

6) 9月森林ボランティア活動参加（金峰山）



3.EA21推進委員会

《3-3》EA21推進委員会の活動内容

①PULL型情報収集：市報・インターネット・ラジオ等（月1回掲示）

①PULL型情報



②EA21推進委員会からの報告・発表（月1回全体朝礼）

1月...全体集会自体がなし
（新年初祈願祭で全社員集まり、
社長の訓示を聞く機会がある為）

7月...【ミニ講習会】
エコドライブ講習会

2月...【お知らせ】紙のリサイクル
分別・回収先の変更について

8月...【報告】第2四半期までの
環境目標達成状況について

3月...【報告と注意喚起】
過去の労災事例について

9月...【ミニ講習会】
トリクレンの取り扱い、万一漏
洩事故が起きた場合の対応

4月...【報告】エコアクション21の
本審査結果について

10月...【報告】
森林ボランティア参加報告

5月...【報告】
①エコアクション21の実施
体制変更について
（メンバー交代あり）
②飲料自販機による緑の
募金額について
③第1四半期の環境目標達
成状況について

11月...【ミニ講習会】
MSDSの取扱い方法について

6月...【報告】紙のリサイクル収入で、
花のプランターと花の苗を購入
したについて

12月...【報告】
第3四半期までの環境目標達
成状況について

③環境美化活動～古紙が花になりました。～

2014年5月31日土曜日。古紙リサイクルで得たお金でお花を購入しまし
た。

古紙回収による収入：¥3,126円、使用した金額：¥2,985円。



日々草（ニチニチソウ）

花言葉『若い友情』『生涯の友情』『楽しい追憶』『優しさ』

④環境保全団体への支援・協力、環境活動の取り組みに積極的に 参加された方々への表彰。

※エコアクション21推進委員会で選出し、社長より表彰していただ
きました。

- 1) 女性従業員2名 男性従業員2名
内容：山形県の環境キャンペーン『冬の省エネ標語・川柳コンテスト』に自らの
意思で応募し、環境目標達成に貢献されました。
- 2) 男性従業員2名
内容：森林ボランティア活動に自らの意思で参加し、環境目標達成
に貢献されました。
- 3) 営業部
内容：適切な営業車両の管理に毎日継続して取り組まれ、環境目標
達成に貢献されました。
- 4) 表面処理
内容：A重油の削減に取り組まれ、
CO₂削減に大きく貢献されました。



4.環境目標

《4-1》環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェックならびに環境方針と整合性との整合性を図り、山形エコアクション21対応項目を含む次の6項目とについて、環境目標を設定しました。

- (1)二酸化炭素排出量 (2)廃棄物排出量 (3)総排出量
(4)リサイクル部品の使用 (5)グリーン購入推進
(6)環境保全団体への支援・協力（山形エコアクション21対応項目）

《4-2》環境負担の実績

(2014年1月～12月当社における主な環境負担の実績は下表に示す通りです。)

二酸化炭素排出量(t-CO ₂)		
電力(係数0.469)	灯油・LPG	ガソリン・軽油・重油
2,558	60	317

廃棄物排出量(kg)		総排水量(m ³) (水使用量)
一般廃棄物	産業廃棄物	
6,040	109,938	8,838

■二酸化炭素の排出量

- (1)2014年度(2014年1月～12月)の二酸化炭素排出量**合計2,935 t**
一般家庭(年間4.9 t ※1)の**約599軒分**の排出量に相当します。

※1家庭からの二酸化炭素排出量は、2009年度 4,852 k g。

- (2)当社から排出される二酸化炭素の**87%**は、電力の使用に伴うものです。主に、炉の熱源として使用されています。
(3)電力以外では、化石燃料が残りの**13%**を占め、軽油・ガソリンは営業・集配業務での車両使用分、灯油は暖房器具、重油は表面処理の熱源として使用されています。

■廃棄物排出量

事務所から排出される一般廃棄物及び製造工程から排出される産業廃棄物として、廃油及び鉄くずがあります。

■総排出量(水使用量)

上水、地下水を使用しておりますが、上水が**約81%**を占め、その**90%以上**を炉の冷却に使用しております。

《4-3》環境目標(短期・中長期)設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、グリーン購入、製品サービスに係る環境負荷の削減のEA21 必須項目ならびに山形エコアクション21関連目標について、単年目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。(基準年を2012年度とする)

	単年度目標	中長期目標
	2015年度(1月～12月)	2013～2017年度(5年間)
■二酸化炭素排出量	基準年度実績値の0.2%削減	基準年度実績値の0.2%削減
■産廃物排出量	基準年度実績値の0.2%削減	基準年度実績値の2%削減
■総排水量(水使用量)		
1)上水	基準年度実績値の維持	基準年度実績値の2%削減
2)地下水	2014年度11月度実績値×12ヶ月分	基準年度実績値の維持
■化学物質使用量		
1)トリクレン	基準年度実績値の3%削減	PRTR対象化学物質(トリクレン)基準年度の1%削減
2)AYクリーン	基準年度実績値より7.1%(200リットル)削減	目標新設
■グリーン購入の推進	エコ事務用品購入率:70%以上	エコ事務用品購入率:70%以上
■熱処理現場・サービス環境配慮	顧客からの環境クレーム:0件	顧客からの環境クレーム:0件
■山形エコアクション21関連	主催行事等に積極的に参加	主催行事等に積極的に参加

4.環境目標

《4-4》2015年度（取組対象期間）環境目標値

2012年度実績値を基に、2015年度（1月～12月）の具体的目標値を下記のように算出しました。業績アップを見込んでいる為、実現可能な削減率での目標設定と致しました。

	2012年度実績 (1月～12月)	2015年度目標 (1月～12月)
■二酸化炭素排出量		
1) 電力	2,573,693kg-CO ₂	2,573,693kg-CO ₂
2) ガソリン	42,505kg-CO ₂	42,505kg-CO ₂
3) 軽油	229,755kg-CO ₂	229,755kg-CO ₂
4) 灯油	24,894kg-CO ₂	24,396kg-CO ₂
5) LPG	11,747kg-CO ₂ (天童) 25,448kg-CO ₂ (山形)	11,747kg-CO ₂ (天童) 25,448kg-CO ₂ (天童)
6) 重油	49,299kg-CO ₂	47,820kg-CO ₂
■廃棄物排出量		
1) 一般廃棄物	8,110kg-CO ₂	7,948kg-CO ₂
2) 産廃廃棄物	115,739kg-CO ₂	115,739kg-CO ₂
■総排水量（水使用量）		
1) 上水	5,465m ³	5,465m ³
2) 地下水	667m ³	12,012m ³
■化学物質使用量		
1) PRTR対象化学物質他	30,886kg	34,296kg
2) AYクリーン	2,800ℓ	2,600ℓ
■グリーン購入の推進	データなし	エコ商品購入率70%上
■熱処理現場 サービス環境配慮	顧客からの 環境クレーム・NGゼロ件	顧客からの 環境クレーム・NGゼロ件
■山形エコアクション21関連	5件以上実施	5件以上実施

5.環境目標の実績（2014年1月～12月）

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

※1・・・削減量、削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2・・・評価：◎⇒達成できた、○⇒削減したが目標未達、▲⇒2012年度とほぼ同じ
×⇒2012年度より増加

《5-1》二酸化炭素排出量

1) 全体

2012年実績	2014年目標	2014年実績
2,957,341kg-CO ₂	2,955,364kg-CO ₂	2,936,772kg-CO ₂
削減量※1	削減率	評価※2
18,592kg-CO ₂	0.6%	◎

【コメント】

2014年は、売上目標が2013年実績値の5%以上増と設定された為、2014年度の二酸化炭素排出量の環境目標値は、各種エネルギーの消費状況と妥当性を見ながら、当初の目標である、「基準年度（2012年度）実績値の1.9%削減」を是正し、最終的には「基準年度実績値の0.05%削減」としました。2014年度を終え、結果として売上実績は2013年度の約7%のアップとなり、本来であればエネルギー消費量もアップすることが自然ですが、二酸化炭素排出量0.05%削減という環境目標値も達成することが出来ました。全てのエネルギー品目合計で、目標対比0.6%減、基準年度実績対比0.7%減となりました。

2) 電力使用

2012年実績	2014年目標	2014年実績
2,573,693kg-CO ₂	2,573,693kg-CO ₂	2,558,843kg-CO ₂
削減量※1	削減率	評価※2
14,850kg-CO ₂	0.6%	◎

電力は、炉を始めとする工場設備の動力であるほか、広い工場内、事務所内を照らす照明器具などあらゆる場所で消費するエネルギーです。電力の当初の目標は、「基準年度実績値の2%削減」でしたが、第1四半期の集計結果を受けて、目標を「基準年度実績値の維持」と是正しました。2014年度を終えて、最終的に、目標値及び基準年度実績値対比0.6%減。2014年度も、2013年度同様、設備保全部の小林室長を中心に、より積極的な節電対策（電灯をLEDに変更する、機械設備の改良等）を行なったこと、各部署において通年目標の取り組み事項を基に、機械設備の効率的な運営を行ったこと、社内で毎月行っている呼びかけや啓蒙により、社員の節電意識が維持され、無駄に電力を使用することがほとんど無くなったことが理由に挙げられます。

5.環境目標の実績（2014年1月～12月）

3) ガソリン、軽油使用

2012年実績	2014年目標	2014年実績
272,260kg-CO ₂	272,260kg-CO ₂	275,630kg-CO ₂
削減量※1	削減率	評価※2
▲3,370kg-CO ₂	▲1.2%	×

【コメント】

ガソリンは、フォークリフトや社有車の燃料として使用されます。当初の目標は、「基準年度実績値の2%削減」でしたが、第1四半期の集計結果を受けて、「基準年度実績値の維持」と是正しました。2014年度を終えて、目標値及び基準年度実績値対比で1.2%減となりました。生産量増大に比例し、フォークリフトの稼働率も高くなっていますが、9月に天童工場のフォークリフト2台を新車に買い替え、燃費が格段に良くなったことと、納期遅れNGの対応で、社有車を使って遠方まで臨時集配を余儀なくされることがほとんどなくなったためだと考えられます。軽油は、主に営業集配トラックの燃料として使用されています。当初の目標は、「基準年度実績値の2%削減」でしたが、第1四半期の集計結果を受けて、「基準年度実績値の維持」と是正しました。2014年度を終えて、目標値及び基準年度実績値対比で1.7%増となりました。毎月、トラック1台につき、それぞれ燃料の適正使用量を定め、エコドライブと効率的なルート集配により、できるだけその範囲内で燃料をやりくりするよう取り組んできましたが、トラックで集配する荷物の量や重さが増えたことがオーバーに繋がったものと考えられます。

4) 灯油使用

2012年実績	2014年目標	2014年実績
24,894kg-CO ₂	24,396kg-CO ₂	21,053kg-CO ₂
削減量※1	削減率	評価※2
3,343kg-CO ₂	13.7%	◎

【コメント】

灯油は、主に冬場の暖房器具の燃料として使用されます。目標を「基準年度実績値の2%削減」とし、是正は行いません。2014年度を終えて、目標値対比13.7%減、基準年度対比15.4%減と、順調な結果となりました。

5) LPG、重油使用

2012年実績	2014年目標	2014年実績
86,494kg-CO ₂	85,508kg-CO ₂	81,246kg-CO ₂
削減量※1	削減率	評価※2
4,262kg-CO ₂	5%	◎

【コメント】

LPGは、天童・山形両工場のメイン炉で使用する燃料であり、現状では大きな削減が見込めないこと、売上目標がアップしていることから、目標は「基準年度実績値の維持」とし、是正は行いませんでした。2014年度を終えて、目標値及び基準年度実績値対比で5.8%増となってしまいました。オーバーの要因としては、生産量の増大が考えられます。重油は、表面処理の設備である水槽を温める為の燃料として使用されます。当初の目標は、「基準年度実績値の維持」でしたが、順調な第1四半期の集計結果を受けて、ハードルを上げて「基準年度実績値の2%削減」としました。2014年度を終えて、目標値対比13.3%減、基準年度実績値対比15.0%減と、順調な達成状況でした。槽の保温や設備の運転効率など、部署内の取り組みが功を成したものと考えられます。

《5-2》廃棄物排出量

■一般廃棄物

一般廃棄物については、目標を「基準年度実績値の1%削減」とし、是正は行いませんでした。2014年度を終えて、目標値対比24.8%減、基準年度実績値対比25.5%減と、順調な達成状況でした。要因としては、段ボールやコピー用紙など紙類のリサイクル意識、梱包資材や木パレットのリユース意識が社内で根付き徹底されていることなどが考えられます。

■産業廃棄物

産業廃棄物については、目標を「基準年度実績値の2%削減」とし、是正は行いませんでした。2014年度を終えて、目標値対比3.0%減、基準年度実績値対比-5.0%減となり、プラスチック製パレットのリユースが徹底されていること、設備補修時に出る廃棄物が減ったことが要因として考えられます。

5.環境目標の実績（2014年1月～12月）

《5-3》水使用量

■上水

上水は、主に設備の冷却に使用されます。当初の目標は「基準年度実績値の2%削減」でしたが、是正を二度行いました。一度目は第1四半期の集計結果を受けた後で、「上水の基準年度の実績値に地下水の概算値を加えた数値の40%増」という、ハードルを下げた是正です。これは、2013年末より山形工場の地下水が設備の不具合により使用できなくなり、その分が上水の使用にシフトしたという事情を考慮したものです。二度目は第2四半期の集計結果を受けた後で、「上水の基準年度実績値の維持」という、ハードルを上げた是正です。これは、6月末より山形工場の地下水設備の不具合に修理が施され、元通り潤沢な地下水を使用できることになった事情を考慮したものです。2014年度を終えて、目標値及び基準年度実績値対比で31.8%増となりました。オーバーの要因としては、夏季が猛暑であり、設備冷却の為に水が大量に必要なこと、品質向上・維持の為に、表面処理槽の液交換が頻繁に行われていること、地下水の事情に翻弄され、目標値の設定があまり適切でなかったことが考えられます。上水の使用量については引き続き課題が残り、対策を模索中ですが、社内でも節水を心がけており大きな無駄遣いはなく、現在の設備で品質を維持する為にはどうしても水が必要となる為、具体案が出ていません。

■地下水

地下水は、山形工場の設備の冷却と営業トラックの洗車などに使用されています。当初の目標は「概算値の維持」でしたが、「水量計を設置して地下水の正確な使用量の把握、概算値との比較を行う」という内容に是正しました。2013年末より設備の不具合のため地下水が使用できなくなったこと、6月末に設備に修理が施され、再び地下水を使用できるようになったことを受けてのものです。水量計設置は10万円弱の費用がかかる為、費用対効果を考え、一時設置は保留とされたが、今後の地下水継続利用を見込み、10月末に漸く設置が完了しました。実際に計測を行ったところ、概算値を大幅に上回り、小林室長を中心に色々と試行錯誤のうえ、現在は適切な水量に絞ることができています。今後もしばらくは推移を見守る必要があります。

《5-4》水使用量

化学物質使用量は、天童工場の焼入と高周波で使用する洗浄剤トリクレン、水処理設備で使用する薬剤のPAC、濃硫酸、表面処理で使用する黒染賦活剤やネオフェロマイトの購入量をカウントしています。当初の目標は「基準年度実績値の1%削減」でしたが、処理量の増大と熱処理する品物の形状に起因する理由から、トリクレン使用量が予定よりも増えてしまった為、目標の是正を行い、最終的に「基準年度実績値の3%増に抑える」と掲げました。結果は、目標値に対し7.8%増となり、目標未達成となりました。トリクレンについては試行錯誤のうえ、削減に向けて対策を講じており、2015年度は山形工場で使用しているAYクリーンに対しても削減目標を新たに設置、取り組んでまいります。

《5-5》グリーン購入推進

グリーン購入については、当初の目標は「事務用品購入において、金額ベースで70%以上をエコ商品にすること」のみでしたが、項目を分けて「営業集配トラックの適切整備、環境基準重視での車両購入」を追加しました。事務用品のグリーン購入は、グリーン購入できるものをリスト化し、それに基づいた購入を行い、第1四半期までは順調でしたが、稼働日が経過するにつれて下がり、目標の70%に対し6.1%及ばず、未達成となりました。元々、分母である全体の事務用品購入数量が少ないことと、稼働日が進むにつれ、購入する品物の種類も多岐にわたっていく為、割合が下がったものと思われますが、もう少し推移を見ていきたいです。車両については、営業部において、日次、週次、月次点検が継続して日々適切に行われている他、2014年に新しく購入したトラック2台、フォークリフト2台、燃費や排ガス規制等すべて最新の環境基準を満たしている新車を購入し、達成することが出来ました。

《5-6》熱処理現場・サービスにおける環境配慮

処理品については、天童工場29件、山形工場20件、合計49件のNGが発生しました。NGが発生すると、信用失墜はもちろんのこと、NG対応により必要以上のエネルギー消費が発生し、様々な面でマイナスとなることからゼロを掲げていますが、残念ながら未達成となりました。環境に対するクレームはゼロでした。取引先や官公庁より提出を求められた環境関連書類なども全て期限まで漏れなく提出され、車両の油漏れなどにも日頃から注意を払っています。

《5-7》環境保全団体への支援・協力

環境保全団体等への支援・協力を5件以上実施に取り組み、目標を達成した。予め実施が見込まれるイベントをピックアップし、社内に参加を呼びかけました。①山形県主催「冬の省エネ川柳・標語コンテスト」への応募 ②社内に設置した飲料自動販売機売上金額より緑の募金を実施 ③山形県環境保全協議会への継続入会 ④地産地消、エコバッグ推進の呼びかけ（月1回、朝礼時） ⑤森林ボランティア活動への参加 その他、天童・山形両工場の工業団地連絡協議会で実施している団地内の清掃作業への参加と、エコアクション推進委員が、「PULL型情報収集」と称し、毎月、環境情報・地産地消情報などを積極的に集めて工場内に掲示しました。地産地消については、天童・山形両工場とも、社員の昼食として、地産地消をアピールポイントにしている地元の出産し弁当業者を利用しています。また、前述のPULL型情報収集で、地産地消の飲食店の紹介などを行っています。

6.環境活動計画の取組結果の評価
ならびに次年度の取組内容

《6-1》環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） _…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	■早朝、照明器具の消灯	○
		■昼休みや休憩時間帯も含め、不要な照明のこまめな消灯	○
		■席を離れる時は、PCをスタンバイモード、外出時はシャットオフ	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	■エコドライブ研修会の開催	△
		■アイドリング停止の徹底	△
廃棄物排出量の削減		■分別の徹底	○
		■コピー数量の削減	△
		■両面コピーや縮小コピーの励行	○
リサイクルの促進		■コピー用紙の両面使用	○
		■コピー用紙の再利用後、梱包材へ再利用	○
産業廃棄物の適正管理		■保管場所の管理	○
		■マニュアル・契約書類の管理	○
総排水量の削減	水道使用量の削減	■冷却用水槽の節水	○
		■手洗い時の節水（掲示）	△
	地下水の適正利用	■水量計の設置	○
グリーン購入の推進		■購入事務用品グリーン購入対象品の確認	○

取組項目	具体的活動計画	評価
製品・サービス関連	■NG発生、環境面でのクレーム件数を『ゼロ』にする	△
山形エコアクション21 関連	■山形県環境保全協会への入会	○
	■森林整備活動参加（金峰山）	○
	■『緑の募金』活動	○

《6-2》次年度の取組内容（方向性）

これまでの活動内容を継続するとともに、さらなる省エネ・省資源に取り組んでまいります。社員全員が同じモチベーションを継続して共有できるよう、朝礼などでの啓蒙活動を増やしていきます。

7.環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

弊社に適用される環境関連法規等（廃棄物処理法・リサイクル法・浄化槽法・水質汚濁防止法・消防法・土壌汚染対策法・化管法・高圧ガス保安法・労働安全衛生法・公害防止組織法・省エネルギー法・RoHS指令）については、2015年1月5日付で、その遵守状況を確認したところ、違反状態は認められませんでした。提出義務のある各種届出も期限遵守のうえ適切になされています。また、外部からの訴訟等についても、会社創業以来一度もありません。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

《8-1》環境経営システムが有効に機能しているか

エコアクション21推進委員会の定期的開催、全体集会での実施計画・進捗状況の報告、インターネット等を利用した環境活動に関する情報収集など、年々システムも充実してきており、全社的な活動が出来るようになりました。

《8-2》環境への取組は適切に実施されているか

目標項目によってバラツキはあるものの、総合評価としては概ね達成できました。仕事量に左右される項目がほとんどであるが、今後も職場改善を推進しながら、目標達成に向けて努力していきたいです。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
また、エコアクション21認定取得後は、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

丸和熱処理 株式会社

〒994-0069

山形県天童市清池東二丁目8番20号

TEL：023-655-2880/FAX：023-655-5203